

## 3. 陝西省

2023年の陝西省の域内総生産（GRP）の実質成長率は4.3%で、前年の4.3%と横ばい。全国の実質GDP成長率（5.2%）を0.9ポイント下回った。2024年の経済成長率の所期目標は5.5%前後としている。

### 2023年の経済状況

2023年の陝西省の域内総生産（GRP）は前年比4.3%増の3兆3,786億700万元だった。GRPを産業別にみると、第一次産業は前年比4.0%増の2,649億7,500万元、第二次産業は4.5%増の1兆6,068億9,000万元、第三次産業は4.1%増の1兆5,067億4,200万元だった。消費者物価上昇率は0.1%（2022年は2.1%）、固定資産投資額（農家を除く）は前年比0.2%増（2022年は前年比8.1%増）、一定規模以上の工業生産は5.0%増（2022年は前年比7.1%増）、社会消費品小売総額は3.4%増（2022年は前年比1.5%増）だった。陝西省の住民1人当たり可処分所得は6.7%増の3万2,128元となった。貿易総額は、前年比14.9%減の4,042億600万元、うち輸出は2,630億9,200万元、輸入は1,411億1,400万元、貿易収支は1,219億7,800万元の黒字だった。

### 陝西省の特徴

陝西省の省都・西安市はシルクロードの起点として、古くから国際的な交易や文化の交流が行われてきた。近年は、中国が国家戦略として進める「一带一路」（シルクロード経済帯と21世紀海上シルクロード）構想におけるシルクロード経済帯の起点として注目されている。また、「一带一路」構想を担い、中国の内陸経済を牽引することへの期待から、2017年4月には中国（陝西）自由貿易試験区が設立された。

陝西省は中国の地理的中心に位置し、中国の東西南北を結ぶ交通のハブである。西部大開発プロジェクトの進展に伴い、陝西省では高速道路、高速鉄道の開通、西安咸陽国際空港の拡張など、急速にインフラ建設が進む。鉄道では、中央アジア、欧州に至る国際貨物列車「長安号」が開通しており、2023年の運行本数は5,351本、前年比15.3%増となり、全国で初めて年間5,000本、累計20,000本を突破した。2013年11月28日開通以来、累計21,405本の列車を運行し、運行本数、重箱率、貨物運送量などの指標において全国でトップを占めている。航空では、中国西安咸陽国際空港が全国十大空港の1つとなっている。

陝西省は教育レベルが高く、人口10万人当たりの高等教育在校生数が全国3位となっている。2023年の技術契約取引額は4,120億元に達し、前年比34.9%増となった。豊富な科学教育資源を生かして、航空宇宙産業、IT産業、先端農業等の分野で中国を代表する産業基盤が形成されて

いる。陝西省における優秀な人材と産業基盤を生かした研究開発と技術革新は、中国全体の産業の高度化においても重要な役割を担っている。

### 国際都市を目指して

すでに進出している企業が陝西省で安定して操業でき、外国人が過ごしやすい環境を整備することが、先進的な取り組みをする外国企業や外国人旅行者の誘致につながり、陝西省が目標とする内陸の改革開放の高地の建設に有益と考える。陝西省に進出する日系企業が、いっそう発展を遂げ、陝西省の経済発展に寄与するために挙げた建議を整理すると、以下の3点に集約される。

第一に、予見可能性の向上である。環境規制への対応では、自社やサプライヤーが地域の空気汚染濃度が高まったときなどに急に操業停止の指示を受けて安定供給の責任を果たすことが困難になり、顧客の信用を失っている事例があった。すでに進出している企業が陝西省で安定して操業し、発展できるよう、インフラを整え、規制措置は公平かつ合理的なルールを前広に書面で公式に発表することを要望する。

第二に、外国人も過ごしやすい環境の整備である。古都・西安を有する陝西省は元来海外からの観光客が多く、国際文化旅行都市として発展を目指している。こうした海外からの観光客や生活する外国人も過ごしやすい環境を整備することが、陝西省の持つ都市としての魅力の海外への発信となり、さらなる企業や旅行者の誘致につながるものと考えられる。

第三に、総合的な視野に立った公平で迅速な行政サービスの提供である。陝西省が、世界銀行の報告書「ビジネス環境の現状（Doing Business）」をベンチマークし、陝西省のビジネス環境と競争力が、中国国内の経済が発展している地域の水準に追いつき追いつき越すよう取り組んでいることを歓迎したい。投資環境の改善にあたっては、陝西省進出企業の実情に即したものとなるよう、政策・法令・計画の策定過程で日系企業を含む関連企業との情報交換、調整を十分に行うことを要望する。

### 対話を通じた互恵関係の構築に向けて

新型コロナウイルスの影響により2020年以来、陝西省関係当局と在陝西省日系企業との意見交換会の実現には至っていない。意見交換会等の情報交換を継続的に行うことにより相互理解が深まることで、陝西省の投資環境が改善し、企業の円滑な事業展開につながり、競争力のある産業が成長するという互恵関係の構築を目指したい。

## <建議>

### 1. 安定操業環境の確保

#### ① 電力供給

電力供給に関して、地域の発電局とのコミュニケーションも改善され、従来は当日に工事停電通知されていたものが前日または数日前の通知へ改善されている。瞬時停電も同様に減少傾向にあるものの、完全になくなっているわけではない。引き続き電力供給量不足解決へ向けたインフラ対応策を要望する。

#### ② 通関

通関手続において同一製品のHS番号や原産地証明など輸出入申告に関する税関審査および保税区、物流園区または保税港区の運用や規則、規定に対する解釈も地域や担当者により異なる。通関一体化の推進に伴い改善がみられる部分もあるが、税関総署等の関連部門に対して、窓口人員への研修の強化やより詳細なマニュアルの整備などにより全国で統一的な運用を行うよう要望する。

#### ③ 環境政策

日系企業が法令遵守を適切に行うにあたり、生態環境庁、各区政府当局による監視や取り締まりなど執行面において、担当者の恣意的な対応ではなく、内外資問わず統一した基準に基づく運用がなされることを要望する。加えて、企業に対する行政指導を行う際には、その根拠法令やデータ等の違反根拠を書面で示す等の説明を要望する。

環境面に関する規制が強化されており、開発区、市政府、省政府で関係部署が入れ代わり立ち代わりで何度も工場立入検査に来るため対応が増加した。さらには外部測定業者による測定検査が日時指定から抜き打ちとなった例が存在している。ポイントを絞った合理的な検査を要望する。

法整備が進み「一刀両断的生産停止措置」はなくなったことは評価できるが、紅色警報発令時の対応が厳しくなっており工場の生産停止・車のナンバー規制・市中工事停止などの措置が取られているが、操業停止の対象となる事業者を選定する際の客観的基準の公表、改善実施の猶予期間設定、事前通知の徹底、活動停止による環境改善効果の公表等、公平かつ合理的なルールを構築することを要望する。

#### ④ 駐在員、人材

製造業における技術指導および会社全体の管理に熟練した日本から派遣する駐在員に関して、高齢化の問題もあり就業が難しくなっている。また慢性的に製造ワーカーの供給が不足している。これらについて効果ある政策措置を要望する。

### 2. 交通、生活環境、インフラ整備の改善

#### ⑤ 日本からの渡航に関する利便性の向上

短期商用ビザ免除措置の再開を要望する。また、成田空港以外からの直行便の増便もしくは乗継便の改善を要望する。現在日本から西安に来る場合、深夜に西安に到着する便となるため、ビジネス訪問客が増加しない一因となっている。また、電子決済が広がった反面、国際クレジットカードが使用できないなど、外国人旅行者・出張者には障害となっており、外国人が暮らしやすい生活環境の整備を要望する。

#### ⑥ 市内渋滞の抜本的な改善

工場誘致が盛んにおこなわれ、車通勤者が増加した結果、市内のみならず市街においても出退勤時に大渋滞が常態化しており抜本的な改善を要望する。また、市内道路において雨水の排水に関して悪化しており、渋滞を悪化させており排水機能向上のための歩道整備を要望する。